

類聚佛國刑法

四

CF2  
711  
01

東 京 圖 書 館

新 門 一 三 函

一 部 四 架

類 四 八 五 六 號

共  
四  
本

CF2  
711  
01

類聚佛國刑法卷四目錄

犯姦律

犯姦

亂風俗

親族相姦

強姦

雜犯律

賭博

失火

放火

費用受寄財產

破毀建造物

妨害競賣

出版犯則

私藏兵器

郵便犯則

典舖犯則

捕亡律

追捕罪人及失囚

獄囚脫監

藏匿罪人

擅行逮捕

斷獄律

禁錮違法

與囚金刃

違式

刑例

罪目

東書

類聚律

國刑法卷四

新律

犯姦

第三百

八十八條原第三百三十六條婦ノ姦通ハ其夫ニ非

サル者ニ於テ訴訟ヲ為ス可ラス又第三百九

十五條原第三百九條ニ記スル場合ニ於テハ夫ト

雖氏其婦ノ姦通ヲ呈訴スルヲ能ハス

第三百八十九條原第三百七條姦通ノ證ノ發覺セシ

婦ハ三月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル

時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

夫ニ於テ其姦通セシ婦ヲ再嫁スルコトヲ肯スル時ハ其刑ヲ停止スルコトヲ得可シ

第三百九十條

原第三百八條 姦夫ハ姦婦ト同期ノ時

間禁錮ノ刑ニ處セラル且百フランクヨリ少

カラス二千フランクヨリ多カラサル罰金ノ

言渡ヲ受ク可シ

姦通シタルノ證トハ現ニ其罪犯ノ所為ヲ知

發シ又ハ其事ニ管スル犯人ノ書信及ヒ其他

ノ書類ヲ指シテ云

亂風俗

第三百九十一條

原第三百十條 公然ニ猥褻ノ所行ヲ

為スノ罪ヲ犯セシ者ハ三月ヨリ少カラス二

年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ

且十六フランクヨリ少カラス二百フランク

ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百九十二條

原第三百十一條 男女ヲ論セス其十三

歳以下ノ者ノ身體ニ對シ暴行ヲ加フルニ非

スト雖氏猥褻ノ所行ヲナシ又ハ為サントシ

タル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セ

ラル可シ

第三百九十三條 原第三百十四條 男女ヲ論セス常ニ二十歳以下ノ年少ノ者ノ淫行ヲ誘起シ及ヒ幫助シ又ハ容易ナラシム可キ等ノ事ヲ為シテ風俗ヲ亂サント為タル者ハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且五十フランクヨリ少カラス五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ若シ父母又ハ後見人及ヒ其他年少ノ者ヲ照管ス可キ任ヲ受ケシ者等ニ於テ其淫行ヲ誘起シ及ヒ幫助シ又ハ容易ナラシム可キ等

ノ事ヲ為タル時ハ其犯人ニ於テ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且三百フランクヨリ少カラス千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第三百九十四條 原第三百十五條 前條ニ記シタル輕罪ヲ犯セシ者ハ後見ノ職及ヒキユラートルノ職等ヲ行フノ禁ヲ受ケ且親族ノ會議ニ列班スルノ禁ヲ受ク可シ但シ前條ノ首項ニ記シタル罪ヲ犯セシ者ハ二年ヨリ少カラス五年

ヨリ多カラサル時間同上ノ刑ヲ受ケ前條ノ  
 次項ニ記シタル罪ヲ犯セシ者ハ十年ヨリ少  
 カラス二十年ヨリ多カラサル時間同上ノ刑  
 ヲ受ク可シ  
 若シ父母ノ其罪ヲ犯セシ時ハ民法第一篇第  
 九卷父母ノ權ノ部ニ記シタル如ク其子ノ身  
 體及ヒ財産等ニ對シ行フ可キ權ノ剝奪ヲ受  
 ク可シ  
 何レノ場合ニ於テモ其犯人ハ此條ニ記シタ  
 ル後見及ヒキユラートル等ノ職務及ヒ親族

可惜此ノ條ハ  
 古昔ニ於テ  
 行ヒ今ヤ  
 廢ス

ノ會議ニ列班スルノ權等ヲ行フノ禁ヲ遵守  
 シ且其時間更ニ裁判所ノ命ヲ以テ政府ノ監  
 察ヲ受ク可シ

第三百九十五條 原第三百三十九條 夫ノ其家ニ娼婦ヲ蓄

ヒ置キ其婦ノ訴訟ニ因テ其罪ノ證ノ發覺シ  
 タル時ハ其夫ニ於テ百フランクヨリ少カラ  
 ス二千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡  
 ヲ受ク可シ

親族相姦

第三百九十六條 原第三百三十一條 第二項 十三歲以上ト雖

氏婚姻ヲ結ヒテ未タ後見ヲ免カレサル年少ノ者ノ身體ニ對シ其尊屬ノ親ニ於テ猥褻ノ所行ヲナシ又ハ為ントシタル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可シ

強姦

第三百九十七條 原第三百三十二條 強姦ノ罪ヲ犯シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ  
若シ全周十五歳以下ノ者ニ對シ強姦ノ罪ヲ犯シタル者ハ至重ノ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

男女ヲ論ヤス人ニ對シ暴行ヲ以テ猥褻ノ所行ヲナシ及ヒ為ントシタル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可シ  
若シ全周十五歳以下ノ者ニ對シ此罪ヲ犯シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ  
第三百九十八條 原第三百三十三條 若シ尊屬ノ親ノ卑屬ノ親ニ對シテ其罪ヲ犯シタル者又ハ年少ノ者ノ指令ヲ為ス者ノ年少ノ者ニ對シ其罪ヲ犯シタル者又ハ年少ノ者ノ受業師及ヒ年少ノ者ノ奴僕尊屬ノ親ノ奴僕指令ヲ為ス者ノ



奴僕受業師ノ奴僕等ノ年少ノ者ニ對シ其罪ヲ犯シタル者又ハ説教ノ僧徒ノ其罪ヲ犯シタル者及ヒ其他何者ヲ論セス其罪ヲ犯スニツキ一人又ハ數人ノ助ヲ得タル者等ノ第三百九十二條原第三十條ノ首項ニ記セシ場合ニ於テハ有期ノ徒刑ニ處セラレ前條ニ記シタル場合ニ於テハ無期ノ徒刑ニ處セラレ可シ

雜犯律

賭博

第三百九十九條原第四十條 賭博場ヲ設ケ人ヲシテ自由ニ入ラシメシ者又ハ賭博場ニ管スル者ニ於テ唱邀ヲ為シ人ヲ入ラシメシ者及ヒ其賭博場ニ於テ賭博ヲ為ス者又ハ法律ニ於テ允許セサル賑給場ヲ設ケシ者及ヒ其場所ノ管當者又ハ其他管照ノ托ヲ得タル者等ハ二月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラ

ス六千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡  
ヲ受ク可シ

且其犯人ハ其刑ヲ受ケシ日ヨリシテ五年ヨ  
リ少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十  
條原第四十二條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ク  
可シ

何レノ場合ニ於テモ賭博及ヒ販給等ニ用ヒ  
タル金銀證券家具器具及ヒ其場所ニ裝布排  
列シタル家具等ハ沒收セサル可シ

第四百條原第四十一條國債ノ證券ノ價額ノ低昂ニ

ツキ賭博ヲ為タル者ハ第百七十七條原第九  
百九  
條ニ記シタル刑ニ處セラル可シ

第四百一條原第四十二條國債ノ證券ノ賣與及ヒ交  
付等ヲ為ス可キ契約ヲ結ヒシ時自己ニ於テ  
其證券ヲ所有スルノ證ナク其契約ヲ結ヒシ  
者ハ前條ニ記載シタル賭博ナリト為ス可シ

失火

第四百二條原第四十八條他人ノ動産靜産等ニ接近  
セシ竈隕竈煙突鑄造所家屋製造所等ノ舊敗  
シ及ヒ其修理掃除等ニ怠リ又ハ田野ニ於テ

家屋及ヒ建造物又ハ森林草叢園庭栽庄植籬  
又ハ穀類藁草類枯草牛羊ニ喂ス可キ草類等  
ヲ堆積シタル物及ヒ其他焚燒ス可キ品物ヲ  
堆積シタル所等ヨリ百メートル以下ノ距離  
ニ於テ火ヲ燃ヤシ又ハ諸般ノ燃火點火等ヲ  
忽略ニナシ又ハ疎略ニ煙火ヲ弄シタル等ノ  
事ニ因リ他人ノ動産及ヒ静産等ニ火患ヲ生  
シタル者ハ五十フランクヨリ少カラス五百  
フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク  
可シ

### 放火

第四百三條 原第四百十四條 自己ノ所有物及ヒ他人ノ  
所有物タルヲ問ハス故意ヲ以テ人ノ住居シ  
又ハ住居ス可キ建造物船舶小舟倉庫及ヒ木  
材ノ聚積場又ハ其他ノ人ノ居住シ又ハ居住  
ス可キ諸般ノ場所等ニ火ヲ放チシ者ハ死刑  
ニ處セララル可シ  
人ノ乘リタル車又ハ火輪車及ヒ現ニ人ノ乘  
シ車ニ非スト雖氏人ノ乘リタル火輪車中ノ  
列車ノ一部ニ故意ヲ以テ火ヲ放チシ者ハ同

刑罰法  
第四  
五

上ノ刑ニ處セラル可シ  
人ノ居住シ及ヒ居住ノ為メ等ニ非サル建造  
物船舶小舟倉庫及ヒ木材ノ聚積場又ハ森林  
及ヒ斫伐ス可キ大木又ハ未タ刈收セサル穀  
物等ノ已レニ屬セサル物ニ故意ヲ以テ火ヲ  
放チシ者ハ無期ノ徒刑ニ處セラル可シ  
前文ニ記シタル所ノ已レニ屬セシ物ニ火ヲ  
放チ及ヒ放タシメ故意ヲ以テ人ニ損害ヲ加  
ヘシメシ者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ又  
其所有者ノ命ニ因リ火ヲ放チシ者ハ同刑ニ

刑法典  
第四

九

九

處セラル可シ  
堆積セシ藁又ハ刈收セシ穀物又ハ堆積セシ  
木材又ハ商品及ヒ其他品物ヲ載積スルト載  
積セサルトヲ論セス人ノ乗リタル車及ヒ火  
輪車等ノ列車ノ一部ニ非サル車ノ已レニ屬  
セサル物ヘ故意ヲ以テ火ヲ放チシ者ハ有期  
ノ徒刑ニ處セラル可シ  
前文ニ記シタル所ノ已レニ屬セシ物ニ火ヲ  
放チ及ヒ放タシメ故意ヲ以テ人ニ損害ヲ加  
ヘタル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處

セラル可シ又其所有者ノ命ニ因リ火ヲ放チ  
シ者ハ同刑ニ處セラル可シ  
己レニ屬スルト人ニ屬スルトヲ問ハズ火ヲ  
傳フ可キ場所ニ有ル物件ニ故意ヲ以テ火ヲ  
放チ前六項ニ記セシ物ニ火ヲ傳ヘシメシ者  
ハ直チニ其物ニ火ヲ放チシ者ト同刑ニ處セ  
ラル可シ  
何レノ場合ニ於テモ火ヲ放チシ時其場ニア  
ル者ノ一人又ハ數人ヲ焚死セシ時ハ其犯人  
ニ於テ死刑ニ處セラル可シ

第四百四條 原第四百五條 地雷火ヲ破裂セシノ建造  
物船舶小舟及ヒ木材ノ聚積場等ヲ滅盡シタ  
ル者ハ前條ニ記シタル區別ヲ以テ刑ニ處セ  
ラル可シ

第四百五條 原第四百六條 家屋又ハ其他ノ所有物等  
ニ火ヲ放チシト脅迫シタル者ハ第二百九十  
七條 原第三百九十八條 第二百九十九條 原第三百九十九條  
十九條 原第七條 等ニ記シタル區別ニ循ヒ陰殺  
ヲ為サント脅迫セシ者ト同刑ニ處セラル可  
シ

第四百六十六條 原第四百三十九條 官署ノ簿冊証書及ヒ記單等ノ書類又ハ借受販賣受寄筭還等ノ事ニ管シタル貿易及ヒ交引舗ノ紙券交引証書証票等ノ類ヲ故意ヲ以テ焚燬シ又ハ何レノ方法ヲ論セス滅盡シタル者ハ左ノ刑ニ處セラル可シ

若シ官署ノ書類又ハ貿易及ヒ交引舗ノ證書類等ヲ滅盡シタル者ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可シ  
若シ其他ノ証書類ヲ滅盡セシ者ハ二年ヨリ

少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラス三百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

費用受寄財産

第四百七條 原第四百八條 自己ニ於テ借受受寄及ヒ典當ノ受寄又ハ借用或ハ雇直ヲ得タル操作及ヒ雇直ヲ得サル操作等ノ為メ又ハ還與ヲ為スノ約束及ヒ回價ノ物ヲ還與ス可キノ約束或ハ預定ノ用法ヲ為ス可キ為メ等ニツキ交

付ヲ得タル証票金銀商品証券還與ノ証書又  
ハ其他借受及ヒ算還等ノ証書類等ヲ其所有  
者ノ害トナル可キ方法ヲ以テ竊取シ及ヒ費  
耗セシ者ハ第二百五十九條原第四百六條ニ記シタ  
ル刑ニ處セララル可シ  
官署裁判等ニ管スル官吏ニ於テ前文ニ記セ  
シ人ノ信ニ背クノ罪ヲ犯シ又ハ僕奴雇下弟  
子書記官家僮工丁及ヒ期限ヲ定メ使役ヲ受  
ル僮奴等ノ其主ニ對シ其罪ヲ犯シテ害ヲ為  
スル時ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セ

ララル可シ

但シ此規則ト第百十條原第二百二十四條第百二十  
四條原第二百五十五條第百四十條原第二百五十六條等ニ記  
載セシ官署ニ藏スル金銀証書等ノ類ヲ竊取  
攘奪スルノ罪犯ヲ罰スルノ規則ト相抵觸ス  
ル事ナカル可シ

破毀建造物

第四百八條原第二百五十七條公然ノ有益又ハ觀美トナ  
ス可キ為メ官署ニ於テ造立シ及ヒ官署ノ允  
許ヲ得テ造立シタル永存ノ建造物及ヒ立像

又ハ其他ノ物等ヲ破壊シ及ヒ毀損シタル者ハ一月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時  
間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フランクヨリ少  
カラス五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ  
言渡ヲ受ク可シ

妨害競賣

第四百九條 原第四百九條 静産動産ヲ所有ト為スノ  
權静産動産ヲ借受ルノ權静産動産ノ償ヲ收  
メテ貸與フルノ權起做ヲ為ス事食料ノ供給  
ヲ為ス事商社ヲ開キ及ヒ土地ヲ開拓スル事

等ニツキ為タル所ハ糶賣ノ自由ヲ其糶賣ノ  
前及ヒ其時間等ニ於テ暴行脇迫等ヲ用ヒ妨  
ケタル者ハ十五日ヨリ少カラス三月ヨリ多  
カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且百フラ  
ンクヨリ少カラス五千フランクヨリ多カラ  
サル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ贈遺及ヒ契約等  
ニ因リ糶賣ヲ為ス者ヲ其糶賣ノ場所ニ至ル  
ヲ止メシメシ者ハ同上ノ刑ニ處セラル可  
シ

出板犯則



第四百十條 原第二百三十三條 著述家及ヒ刷工等ノ姓名  
 職業住所等ヲ真正ニ記サ、ル書類日誌又ハ  
 貼壁ノ告示新聞紙刺期刊行ノ書及ヒ其他ノ  
 書等ヲ發行及ヒ分派シタル時ハ故ラニ其發  
 行及ヒ分派等ノ事ノ管セシ者ニ於テ其所行  
 ノミニ因リ六日ヨリ少カラス六月ヨリ多カ  
 ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百十一條 原第二百三十四條  
 第一 唱販及ヒ貼壁ノ告示又ハ販賣分  
 派等ヲ為ス者ニ於テ前條ニ記シタル

書類ヲ附與セシ者ノ姓名ヲ出首セシ  
 者

第二 刷工ノ姓名ヲ出首セシ者

第三 著述家ノ姓名ヲ出首セシ刷工

此等ノ者ハ註誤ノ刑ヲ受クルノミトス

第四百十二條 原第二百五十五條 若シ活刷シタル書類ニ  
 重罪ノ犯及ヒ輕罪ノ犯等ヲ挑唆セシムルノ  
 文意ヲ含ム時ニ於テ其唱販及ヒ貼壁ノ告示  
 又ハ販賣分配等ヲ為ス者ノ其書類ヲ附與セ  
 シ者ノ姓名ヲ出首セサル時ハ其輕重ノ犯罪

ヲ挑唆セシメタル者ト同刑ニ處セラル可シ  
 若シ其書類ヲ附與セシ者ノ姓名ヲ出首シタ  
 ル時ハ其出首ノ者ニ於テ六日ヨリ少カラス  
 三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處ス可  
 キ罰ヲ受クルノミトス但シ其輕重ノ犯罪ヲ  
 挑唆セシメタル者ト同刑ニ處ス可キ罰ヲ受  
 クル者ハ其書類ヲ附與セシ者ノ姓名ヲ出首  
 セサル者及ヒ刷工ノ分明ナル時ハ其刷工等  
 ノミニ限ル可シ

第四百十三條 原第二百二十六條 前條ニ記ルシタル何レ

ノ場合ニ於テモ其書類ノ印本ハ沒收ス可シ  
 第四百十四條 原第二百二十七條 風俗ヲ亂ス可キ歌謠及  
 ヒ冊子、畫圖、肖像等ヲ展示セシ者及ヒ分派セ  
 シ者等ハ十六フランクヨリ少カラス五百フ  
 ランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且  
 一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間  
 禁錮ノ刑ニ處セラレ其上其歌謠、冊子、畫圖及  
 ヒ他ノ輕罪ニ管セシ物等ヲ彫刻シタル印版  
 及ヒ印本等ヲ沒收セラル可シ

第四百十五條 原第二百二十八條

第一 前條ニ記シタル輕罪ニ管セシ物  
 ヲ附與シタル者ノ姓名ヲ出首シタル  
 唱販及ヒ販賣配分等ヲ為ス者  
 第二 刷工彫工等ノ姓名ヲ出首セシ者  
 第三 歌謠及ヒ冊子畫圖肖像等ヲ造リ  
 シ者又ハ其彫刻及ヒ活刷等ノ事ヲ任  
 シタル者等ノ姓名ヲ出首セシ刷工及  
 ヒ彫工  
 此等ノ者ハ前條ニ記シタル禁錮ノ刑及ヒ罰  
 金等ノ言渡ヲ受クルヲナク唯註誤ノ刑ヲ受

ルノミトス  
 第四百十六條 原第二百前六條ニ開載シタル何  
 レノ場合ニ於テモ冊子畫圖肖像等ヲ造リシ  
 者ハ前ニ記シタル各自ノ輕罪ノ刑中ニ於テ  
 至重ノ刑ニ處セラル可シ  
 第四百十七條 原第四百他人ノ藏版ニ管シタル  
 規則ニ背キ活刷及ヒ鏤刷等ノ書類又ハ歌謠  
 畫圖等ノ類ヲ印出スルハ皆假冒ナリトス但  
 シ諸般ノ假冒ハ皆輕罪ナリトス  
 第四百十八條 原第四百假冒ノ書籍歌謠及ヒ畫

圖等ノ類ヲ販賣セシ時又ハ外國ニ於テ假冒シタル佛蘭西刊行ノ書籍歌謠畫圖等ノ類ヲ佛蘭西國內ニ携へ來ル時等ハ亦同一ノ輕罪ナリトス

第四百十九條原第四百二十七條假冒者及ヒ外國ニ於テ假冒シタル書籍歌謠畫圖等ノ類ヲ佛蘭西國內ニ携へ來リシ者等ハ百フランクヨリ少カラス二千フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ其假冒ノ書籍歌謠畫圖等ノ類ヲ販賣セシ者ハ二十五フランクヨリ少カラス五

百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ可シ

書籍謠歌畫圖等ヲ假冒シタル者又ハ之ヲ外國ヨリ携へ來リシ者及ヒ之ヲ販賣セシ者等ニ於テハ皆其所有ノ印本ヲ沒收セラル可シ假冒ノ書籍歌謠畫圖等ヲ印シタル板木鑄模及ヒ活字等モ亦沒收セラル可シ

第四百二十條原第四百二十八條觀戲場ノ支配者起做者及ヒ優伶等ノ著述者ノ藏板ニ管シタル規則ヲ犯シ觀戲場ニ於テ其傳奇ヲ演搬セシ者ハ

五十フランクヨリ少カラス五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且其所得ノ金額ヲ沒收セラル可シ

第四百二十一條原第四百二十九條前ノ四條ニ記載シタル場合ニ於テ其沒收シタル物品及ヒ沒收シタル所得ノ金額等ハ著述者ノ被リタル損失ヲ償フ可キ為メ之ヲ其著述者ニ追償セシム可シ但シ其追償ノ餘額ハ通常ノ方法ニ因テ定メ且未タ贋造ノ物品ヲ販賣セス及ヒ未タ所得ノ金額ヲ徵收セサル等ノ時ハ其追償ノ

總額ヲ通常ノ方法ニ因テ定ム可シ

私藏兵器

第四百二十二條原第四百三十四條スチイレ極ナルテ小劍ノトロンブロン極メテ小形ナ及ヒ其他法律又ハ官署ノ規則等ニ於テ禁止シタル兵器類等ヲ製造セシ者或ハ販賣シタル者等ハ六日ヨリ少カラ六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ此等ノ兵器ヲ弄セシ者ハ十六フランクヨリ少カラス二百フランクヨリ多カラサル罰金

ノ言渡ヲ受ク可シ  
 何レノ場合ニ於テモ此等ノ兵器ハ沒收ス可シ  
 此規則ト前文ニ記シタル罪ヲ犯セシ者ノ他  
 ノ重罪ヲ犯シタル時更ニ重刑ニ處セラルヘ  
 キ規則ト相抵觸スル事ナカル可シ  
 第四百二十三條原第三十五條 前條ニ記シタル輕罪  
 ノ刑ノ外裁判所ニ於テ其犯人ヲ二年ヨリ少  
 カラス十年ヨリ多カラサル時間政府ヨリ監  
 察ヲ為シ送致ス可キノ言渡ヲ為ス可シ

郵便犯則

第四百二十四條原第八十七條 政府ノ長官及ヒ官吏  
 又ハ驛遞ノ長官及ヒ官吏等ニ於テ遞送ノ文  
 書ヲ故ラニ遺失シ又ハ發封シ及ヒ發封ノ事  
 ヲ助ケシ者ハ十六フランクヨリ少カラス五  
 百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受  
 ケ且三月ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル  
 時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ但シ其犯人ハ  
 五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間  
 諸般ノ職務ヲ行フノ禁ヲ受ク可シ

典舖犯則

第四百二十五條 原第四百一十條 相當ノ允許ヲ得スシ  
 テ典舖ヲ開キタル者又ハ允許ヲ得ルト雖ト  
 モ法律ニ循テ剽白剽行等ナキ典買ノ証書及  
 ヒ其交付ノ金額品物又ハ其典主ノ姓名住所  
 職業其他典賣ノ品物ノ性質種類價額等ヲ記  
 載セシ簿冊等ヲ設ケサル者等ハ十五日ヨリ  
 少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑  
 ニ處セラレ且百フランクヨリ少カラス二千  
 フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク

可シ

捕亡律

追捕罪人及失囚

第四百二十六條原第二百二十七條囚徒ヲ伴行シ及ヒ押送シ又ハ省守スル等ノ事ニ管スル逮捕人及ヒ番兵又ハ護送兵及ヒ守備兵等ノ督帥又ハ下等士官及ヒ門監等ノ囚徒ヲ逃亡セシムル者ハ後條ノ刑ニ處セラル可シ

第四百二十七條原第二百二十八條其省守及ヒ伴行等ノ任ヲ受ケシ者ノ懈怠ニ因テ輕罪又ハ戮辱ノ刑ヲ受ク可キ重罪等ヲ犯セシ者及ヒ既ニ其

罪ヲ言渡サレシ者等ヲ逃亡セシメ其囚徒ノ戰鬪ニ於テ擒獲シタル者タル時ハ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

若シ其囚徒ノ逃亡ヲ知テ捕獲セサル時ハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百二十八條原第二百二十九條其省守又ハ伴行等ノ任ヲ受ケシ者ノ懈怠ニ因テ有期ノ施體ノ刑ニ處ス可キ重罪ヲ犯セシ囚徒及ヒ其刑ヲ受



ク可キ被告ノ囚徒又ハ此重罪ノ為メ既ニ其刑ニ處セラレシ囚徒等ヲ逃亡セシメタル時ハ二月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ若シ其逃亡ヲ知テ捕獲セサル時ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可シ

第四百二十九條 原第二百四十四條 其看守又ハ伴行等ノ任ヲ受ケシ者ノ懈怠ニ因テ死刑及ヒ無期ノ刑等ニ處ス可キ重罪ヲ犯セシ囚徒及ヒ其刑ヲ受ク可キ被告ノ囚徒又ハ既ニ此刑ニ處セ

ラレタル囚徒等ヲ逃亡セシメタル時ハ一年ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ若シ其逃亡ヲ知テ捕獲セサル時ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第四百三十條 原第二百四十七條 若シ其囚徒ノ逃亡ノ時ヨリ四月内ニ於テ其逃亡後ニ更犯ノ罪ナク逮捕ヲ受シ時其伴行及ヒ看守等ノ者ノ前ニ載セタル懈怠ノ場合ノミニ於テハ禁錮ノ刑ヲ停止ス可シ

獄囚脱監

第四百三十一條 原第二百五條 獄舎ヲ毀テ又ハ暴行ヲ為シテ逃亡シ及ヒ逃亡セント為シタル囚徒ハ其所行ノミヲ以テ六月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ノ言渡ヲ受ク可シ且其囚徒ハ前犯ノ重輕罪ニツキ處セラレタル刑期ノ終リシ後ニ於テ直ニ此刑ヲ受ケ又ハ其前犯ノ輕重罪ノ赦宥及ヒ送致等ノ裁判言渡ヲ受ケシ後ニ於テ直ニ此刑ヲ受ク可シ但シ此規則ト其囚徒ノ暴行ヲ為シ逃亡シタル時ニ於テ犯シタル他ノ重罪ノ為メ

更ニ重刑ニ處ス可キ規則ト相抵觸スル事ナカル可シ

藏匿罪人

第四百三十二條 原第二百三十八條第三項 囚徒ノ者守又ハ伴行等ノ任ヲ受ケサル者ノ其囚徒ヲシテ逃亡ヲ得セシメ又ハ逃亡ヲ容易ニ為シメタル時ハ其犯人ニ於テ六日ヨリ少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百三十三條 原第二百三十九條第二項 此囚徒ノ看守又ハ伴行等ノ任ヲ受サル者ノ囚徒ヲシテ逃亡

ヲ得セシメ又ハ容易ニ為シメシ時ハ三月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百三十四條 原第二百四十四條 此囚徒ノ看守又ハ伴行等ノ任ヲ受サル者ノ囚徒ヲシテ逃亡ヲ得セシメ又ハ容易ニ為シメシ時ハ一年ヨリ少カラズ五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百三十五條 原第二百四十六條 囚徒ノ逃亡ヲ助ケ又ハ囚徒ノ逃亡セント為ス企ヲ助ケタルニ因

リ六月以上ノ時間禁錮ノ刑ニ處セラレシ者ハ其上五年ヨリ少カラズ十年ヨリ多カラサル時間政府ノ別段ナル監察ヲ受ク可シ

第四百三十六條 原第二百四十八條 施體ノ刑ニ處セラル可キ重罪ヲ犯セシ事ヲ知り其犯人ヲ隱匿シ及ヒ隱匿セシメシ者ハ三月ヨリ少カラズ二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ

隱匿シタル者ニ於テ犯人ノ尊族ノ親及ヒ卑屬ノ親子及ヒ孫元孫曾孫等ノ類ヲ云フ

又ハ夫婦者離シタル兄弟姉妹又ハ同級ノ親  
ト兄弟ト姉妹ト類ヲ云等ナル時ハ第四百三十條  
原第二條ノ刑ヲ用ユ可ラス

擅行逮捕

第四百三十七條原第三條相當ナル官署ノ命ナ  
ク且法律ニ循ヒ犯人ヲ逮捕ス可キ命ナキ場  
合ニ於テ何レノ人ヲ論セス逮捕及ヒ禁錮等  
ヲ為タル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ  
其法ニ背キテ人ヲ禁錮スルノ場所ヲ貸與ヘ  
シ者ハ同上ノ刑ニ處セラル可シ

第四百三十八條

原第三條若シ一月以上ノ時間

法ニ背キテ人ヲ禁錮セシ時ハ其犯人ニ於テ  
無期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第四百三十九條

原第三條若シ第四百三十七條

原第四十一條ニ記載シタル輕罪ヲ犯セシ者ノ未  
タ其訴訟ヲ受サル中ニ於テ其逮捕及ヒ禁錮  
等ヲ為タル日ヨリ十日内ニ其逮捕及ヒ禁錮  
等ヲ為タル者ヲ省セシ時ハ其犯人ノ刑ヲ二  
年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁  
錮スルノ刑ニ減ス可シ然ル其犯人ハ五年ヨ

リ少カラス十年ヨリ多カラサル時間政府ヨ  
リ監察ヲ為シ送致ス可シ

第四百四十條

原第三  
百四十四條

第一 衣服ヲ潜用シ姓名ヲ詭リ又ハ官  
署ノ命ヲ偽リテ人ヲ逮捕シタル時

第二 逮捕及ヒ禁錮等ヲ受タル者ヲ殺  
セント脇迫シタル時

此等ノ場合ニ於テ其犯人ハ無期ノ徒刑ニ處  
セラル可シ

然ル逮捕及ヒ禁錮等ヲ受ケシ者ノ身體ヲシ

テ痛苦セシメタル時ハ其犯人ニ於テ死刑ニ  
處セラル可シ

斷獄律

禁錮違法

第四百四十一條 原第一百條 獄舎徒刑場及ヒ其他人  
 民ヲ禁錮ス可キ廠舎等ノ看守人門監等ニ於  
 テ禁錮ノ命及ヒ裁判ノ言渡又ハ政府ノ假ノ  
 命等ナクシテ犯人ヲ其中ニ收受セシ者又ハ  
 フロキリウル、アマプリアル 裁判所ニ於テ訴  
 訟ヲ取扱フ官吏  
 及ヒ裁判役等ノ禁ヲ用ヒスシテ犯人ヲ剋留  
 セシ者又ハ犯人ヲ取締ノ官吏及ヒ其官吏ノ  
 命ヲ受シ者等ニ面セシムルヲ許諾セサル

者又ハ取締ノ官吏ハ廠舎中ニアル犯人ノ姓  
 名簿ヲ示視スル事ヲ肯セサル者等ハ人ヲ枉  
 ニ禁錮セシ罪アル者ト為シ六月ヨリ少カラ  
 ス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處シ  
 且十六フランクヨリ少カラス二百フランク  
 ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ  
 第四百四十二條 原第一百二條 プロキリウル、ゼ子ラ  
 ル又ハフロキリウル、アマペリアル及ヒ其代  
 人又ハ裁判役及ヒ其他ノ官吏等ノ政府又ハ  
 官署ニ於テ定メタル場所外ニ於テ人ヲ禁錮

シ及ヒ禁錮セシメタル者又ハ人ニ對シ預メ法律ニ循ヒ訴訟ヲ為スナク直チニ其人ヲ其上等裁判所へ呼出セシ者等ハ亦民權剝奪ノ刑ニ處セラレ可シ

與囚金又

第四百四十三條原第二百四十一條囚徒ノ暴行ヲ以テ逃亡シ或ハ獄舎ヲ毀テ逃亡シタル時其逃亡ヲ為スニ使用スル器具ヲ貸助ケタル者ハ左ノ刑ニ處セラレ可シ  
若シ逃亡シタル囚徒ノ第四百二十七條原第二百

三十八條ニ記シタル場合ニ於テハ其器具ヲ貸助ケタル者ヲ三月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處シ第四百二十八條原第二百三十九條ニ記シタル場合ニ於テハ一年ヨリ少カラス四年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處シ第四百二十九條原第二百四十條ニ記シタル場合ニ於テ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處シ且五十フランクヨリ少カラス二千フランクヨリ多カラサル罰金ヲ言渡ス可シ

但シ第四百二十九條原第四百二十九條ニ記シタル場合ニ於テハ其器具ヲ貸助ケシ者ニ於テハ其刑ニ處セラレシ日ヨリシテ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十條原第四十條ニ記シタル民權ヲ行フノ禁ヲ受ク可シ

第四百四十四條原第四百四十四條前文ニ記シタル何レノ場合ニ於テモ其囚徒ノ看守人及ヒ獄監等へ贈遺ヲ為タル者又ハ看守人及ヒ獄監ト共ニ囚徒ノ逃亡ヲ知テ捕獲セズ囚徒ヲシテ逃亡ヲ得セシメ及ヒ容易ニ為シメタル者等ハ

其看守人及ヒ獄監等ト同刑ニ處セラレ可シ

第四百四十五條原第四百四十五條囚徒ノ獄舎ヲ毀テ又ハ暴行ヲ為シテ逃亡セシ時ニ於テ若シ兵器ヲ貸與フル事ニ加ハリシ看守人及ヒ伴行人等ハ無期ノ徒刑ニ處セラレ其他ノ者ハ有期ノ徒刑ニ處セラレ可シ

第四百四十六條原第四百四十六條囚徒ノ逃亡ヲ知テ捕獲セサル者等ハ其囚徒ニ償還ノ需メヲ為ス可キ權アル者ハ對シ相糾通シテ其償額ヲ追還ス可キ言渡ヲ受ク可シ



違式

刑例

第四百四十七條原第四百四十四條註誤ノ刑ハ

禁錮

罰金

品物ノ沒收

此等ナリ

第四百四十八條原第四百四十五條註誤ノ罪ノ為メ言渡  
ス所ノ禁錮ノ時間ハ後文ニ記載シタル種類  
及ヒ區別等ニ循ヒ一日ヨリ少キヲナク五日

ヨリ多キヲナカル可シ  
一日禁錮スルノ期限ハ一晝夜即チ二十四時  
間トス

第四百四十九條原第四百六十六條註誤ノ罪ニツキ言渡  
ス可キ罰金ハ後文ニ記載シタル種類及ヒ區  
別等ニ循ヒ一「ラ」クヨリ少カラス十五「フ」  
ラ「ク」ヨリ多カラサル可シ且其罰金ハ註誤  
ノ罪ヲ犯シタル「コ」ム「ミ」ン「シ」ノ所得ト為ス可  
シ

第四百五十條原第四百六十七條犯人ヲシテ罰金ヲ償ハ

シムル為メ之ヲ獄ニ繫ク可シ

然レ犯人ニ於テ其罰金ヲ償フ「レ」能ハサルノ  
確證アル時ハ十五日以上ノ時間獄ニ繫ク可  
カラス

第四百五十一條原第四百六十八條罰金ト原告人ニ追還  
ス可キ償額ト相抵觸シテ犯人ノ所有物ノ若  
シ其數ニ充サル時ハ原告人ニ追還ノ額ヲ罰  
金ヨリ前ニ償ハシム可シ

第四百五十二條原第四百六十九條犯人ヲシテ原告人ハ  
ノ償還及ヒ裁判ノ費用等ヲ償ハシムル為メ

之ヲ獄ニ繫キ且ツ其犯人ニ於テ盡ク其償額  
ヲ了スルニ至ル迄之ヲ繫囚シ置ク可シ然レ  
若シ政府ニ其償ヲ為サシムル為メ獄ニ繫キ  
シ時第四百五十條原第四百六十七條ニ記載シタル如  
ク其償ヲ為スレ能ハサルノ確證アルニ於テ  
ハ其犯人ノ刑ヲ其條ニ記載セシ如ク減殺ス  
可シ

第四百五十三條原第四百七十條 又註誤ノ罪ヲ審判ス  
ル裁判所ニ於テ法律ニテ定メタル場合ニ於  
テハ犯人ノ註誤ノ罪ヲ犯セシニ因リ裁判所

ニ徵收セシ品物又ハ註誤ノ罪ニ因リ犯人ノ  
所得ト為シタル品物及ヒ其罪ヲ犯スニ用ヒ  
或ハ用ヒント為タル品物器具等ヲ沒收スル  
トヲ言渡ス可シ

罪目

第四百五十四條原第四百七十一條

第一 火ヲ焚ク可キ竈竈製造所等ヲ  
修理シ及ヒ掃除スル等ノ事ニ怠リシ  
者

第二 或ル地ニ於テ烟火ヲ弄スルノ禁

ヲ犯セシ者

第三 燈火ヲ點ス可キ定則アル時其事  
ヲ怠リタル旅店ノ主人及ヒ其他ノ者  
又ハゴムミューン<sup>ル</sup>ノ規則ニ於テ其地ノ  
住民ノ街路小徑等ヲ掃除ス可キ定規  
アル時其事ニ怠リタル者

第四 已ムヲ得サルニ非スシテ通行ノ  
自在及ヒ安寧等ヲ妨ク可キ品物ヲ街  
路ニ置キ妨ヲ為ス者又自カラ街衢ニ  
置キシ品物及ヒ自カラ街衢ニ穿チシ

穴等ニ火ヲ點ス可キ法律ニ背キシ者

第五 道路小徑等ノ往來ニ管係スル規  
則ヲ守ル事ニ怠リ或ハ肯セサル者又  
崩壞セントスル家屋ヲ官署ノ命ニ因  
リ修復シ又ハ取除ク可キ時其事ヲ為  
サズル者

第六 墜落シテ人ノ害トナル可キ物及  
ヒ惡氣ヲ發シテ人ノ害トナル可キ物  
等ヲ家屋ノ前ニ展排シ及ヒ拋擲セシ  
者

第七 道路小徑街衢及ヒ田野等ニ鋤鋏木挺鎌竿又ハ其他盜賊及ヒ兇行ヲ為ス者等ノ用トナル可キ兵器器具等ノ類ヲ遺留セシ者

第八 法律ニ於テ田野又ハ園庭等ノ帖蠟ヲ掃フ可キ時其事ニ急リシ者

第九 別段ニ法律ニ於テ罰ス可キ他ノ罪犯ノ情狀ナキ時他人ニ属スル菓實ヲ盜ミ及ヒ其場所ニ於テ食ヒシ者

第十 別段ニ法律ニ於テ罰ス可キ他ノ

罪犯ノ情狀ナキ時尚ホ未夕穀類ヲ全ク刈取セサル田野ニ於テ日出前及ヒ日没後等ニ鉤竿ヲ用ヒ爬集シ又ハ葡萄園内ニ於テ摘殘シタル小サキ葡萄ヲ摘取セシ者

第十一 人ヨリ害ヲ受クルニ非スシテ人ニ對シ第三百三十二條等原第三百三十七條ハヨリ三百七十一ノ各條ニ開載シタル以外ノ曲庇ヲ為タル者

第十二 疎失ニ因リ人ニ對シ汚穢物ヲ

抛澆セシ者

第十三 土地ノ所有者及ヒ借主又ハ償ヲ出シテ借受ケ耕作ヲ為ス者等ニ非サル人又ハ其土地ヲ通行スルノ權ナキ人又ハ其所有者借主等ノ代人及ヒ使役ヲ受ル者等ニ非サル人等ノ土地ニ穀物ヲ植ユ可キ預備ヲ為セシ時又ハ種子ヲ蒔シ時等ニ當リ其地又ハ其一部等ニ入り通行シタル者

第十四 他人ニ屬スル地ニ於テ未ダ穀

物ヲ刈收セサル以前ニ車ヲ挽カシメ及ヒ物ヲ負載セシメ又ハ騎行ニ用フル等ノ獸類ヲ通行セシメタル者

第十五 官署ノ規則ニ背キ且千七百九十年第八月十六日ヨリ二十四日ニ至ル迄ノ間ニ立タル法律第十一章ノ第三條第四條及ヒ千七百九十一年第七月十九日ヨリ二十二日ニ至ル迄ノ間ニ立タル法律第一章ノ第四十六條等ニ循ヒ土地ノ官署ヨリ布告シタル規

則ヲ守ラサル者

此等ノ者ハ一「フランク」ヨリ少カラス五「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第四百五十五條原第四百四十二條前條ノ第二ニ記シタル場合ニ於テ徵收シタル烟火及ヒ同上ノ第七ニ記シタル鋤鍬及ヒ其他ノ器具兵器等ハ沒收セラル可シ

第四百五十六條原第四百三十三條且前條ニ記載シタル如ク烟火ヲ弄シタル者及ヒ第四百五十四條原第四百一十一條ノ第十二ニ記シタル如ク鈎竿ニテ肥

集シタル者又ハ葡萄園内ニ於テ摘殘シタル小キ葡萄ヲ摘取セシ者等ハ其時ノ景況ニ因リ三日ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十七條原第四百四十四條第四百五十四條原第四百一十一條ニ記載シタル犯人等ニ於テ再犯シタル時ハ三日ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十八條原第四百七十五條

第一 葡萄ノ收納ヲ布告スル規則及ヒ

其他布告ノ規則等ニ背キシ者

第二 旅店ノ主人及ヒ家具ノ備リシ家  
 屋ノ貸主等ニ於テ其家ニ宿シタル者  
 ノ姓名身位住所出入ノ日附等ヲ其簿  
 冊ヘ剩白ナク連綴シテ記載スル事ニ  
 怠リシ者及ヒ其簿冊ヲ規則ニ於テ定  
 メタル時限又ハ求需ヲ受シ時等ニ於  
 テ「メイル」及ヒ其補佐又ハ取締ノ官吏  
 又ハ特ニ其事ノ任ヲ受シ者等ニ示サ  
 ヲル者但シ第五十五條 原第七十三條ニ記載

シタル如ク其家屋ニ宿シタル者ノ姓  
 名等ヲ規則ニ循ヒ記載セサル時其宿  
 セシ者ノ重罪及ヒ輕罪等ヲ犯シタル  
 ニツキ其主人ニ於テ其追償ヲ擔當ス  
 可キ規則ト相抵觸スル事ナル可シ

第三 挽夫及ヒ御者等ニ於テ馬又ハ車  
 ヲ挽カシメ及ヒ物ヲ負載セシムル獸  
 類及ヒ車等ニ添フテ常ニ之ヲ引導ス  
 ルヲ得可キ場所ニアル可キ規則ニ背  
 キシ者又ハ市街道路街衢等ノ一側ノ



ミニ迴避ス可キ規則ニ背キシ者及ヒ  
他ノ車等ニ對シテ躲避シ市街堤塢道  
路小徑等ノ半ハヲ讓ル可キ規則ニ背  
キシ者

第四 馬又ハ車ヲ挽カシメ及ヒ物ヲ負  
載セシメ又ハ騎行ノ用ニ供スル獸類  
ヲ人ノ居住スル家屋ノ内部へ驅セ入  
ラシメ又驅セ入ルヲ見テ防カサル者  
又ハ車ニ物ヲ積載スル規則及ヒ車ノ  
進行ノ遲速方向等ノ規則等ニ背キシ

者

街衢ノ馬車ノ堅牢

其馬車ノ重サ

其馬車ニ物ヲ積載スル方法

其馬車ノ乗客ノ數及ヒ其安寧

其馬車内ニ乗載ス可キ客員及ヒ一員

ニツキ賃直ノ幾許ナルヲ記スル事

其馬車ノ外部ニ其所有者ノ姓名ヲ記

スル事

此等ノ事ニ管シタル規則ニ背ク者

第五 市街道路街衢等ニ於テ販給及ヒ賭博等ヲ為ス者

第六 贋造シタル飲料ヲ販賣スル者〔但シ人ノ健康ヲ害ス可キ混合物ヲ交ヘシ時ハ註誤ノ罪ヲ審判スル裁判所ニ於テ更ニ重キ刑ヲ言渡ス可キ規則ト相抵觸スルヲナカル可シ〕

第七 狂者又ハ猛獸等ヲ管守スル者ニ於テ其狂者又ハ猛獸ヲ徘徊セシメシ者又人ニ對シテ害ヲ生スル事ナシト

雖凡行人ニ犬ヲ啖シタル者又ハ其犬ノ行人ヲ襲ヒ及ヒ躡スル時其犬ヲ捉住セサル者

第八 石又ハ其他ノ堅牢物及ヒ汚穢物等ヲ人ノ家屋建造物繞圍ヲ為タル地等ニ抛チシ者又故意ヲ以テ堅牢物及ヒ汚穢物等ヲ人ニ抛チシ者

第九 既熟未熟等ヲ論セス穀類葡萄及ヒ他ノ菓實等ノ生シタル時ニ當リ其土地ノ所有者及ヒ借主等ニ非サル者

又ハ其土地ヲ通行スルノ權ナキ者等ノ其地ニ潜入シテ通行シタル者

第十 何レノ時ヲ論セス種ヲ蒔キタル

他人ノ地又ハ穀類ノ生シタル他人ノ地及ヒ他人ニ属スル斫伐ス可キ樹木

ノ森林等へ車ヲ挽キ又ハ物ヲ載セ及ヒ騎行ニ用フル獸類ヲシテ通行セシ

ノ又ハ通行スルヲ見テ止メサル者

第十一 贗造及ヒ變造等ニ非サル自國ノ貨幣ヲ時價ニ從ヒ交收スルヲ肯セ

サル者

第十二 驟起ノ不幸擾騷難船洪水火災

及ヒ其他ノ災厄又ハ盜賊掠奪及ヒ現

行ノ兇行及ヒ喧噪又ハ裁判ニ從ヒ犯

人ヲ刑ニ處セシト為ス等ノ時ニ於テ

人ヨリ求メテ受ケ止ムヲ得サルニ非

シテ力ヲ用ヒ又ハ助ヲ為ス等ノ事ヲ

肯セヌ及ヒ怠リシ者

第十三 此刑法ノ第四百十一時原第百八十二

條及ヒ第四百十五條原第百八十八條等ニ記

載シタル者

第十四 腐敗セシ食物及ヒ人ノ健康ヲ  
害スル食物等ヲ販賣スル者

第十五 未タ地ヨリ刈取セサル穀物及

ヒ其他ノ地ヨリ生シタル有益ノ産物  
等ヲ第二百四十九條原第三百八十八條ニ記載  
シタル景狀ニ非スシテ盜ミシ者

此等ノ者ハ六<sup>フ</sup>ラシクヨリ少カラス十<sup>フ</sup>ラ  
シクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第四百五十九條原第四百七十六條前條ニ記載シタル如

ク法ニ背キタル挽夫及ヒ御者又ハ車及ヒ獸  
類ノ進行ノ遲速方向物ヲ積載スルノ法又ハ  
街衢ノ馬車ノ堅牢及ヒ其重サ其物ヲ積載ス  
ルノ方法其乗客ノ數其安寧等ノ諸事ニ管ス  
ル規則ヲ犯セシ者又ハ贗造シタル飲料ヲ販  
賣スル者又ハ堅牢ノ物及ヒ汚穢ノ物等ヲ抛  
チタル者等ハ其時ノ景狀ニ因リ前條ニ記載  
シタル罰金ノ外三日ヨリ多カラサル時間禁  
錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百六十條原第四百七十七條

第一 前條ニ記載シタル場合ニ於テ市  
 街道路路街衢等ニテ行フタル賭博及ヒ  
 販給等ニ用ヒシ卓子及ヒ器具等ノ類  
 又ハ賭物ト為タル金銀及ヒ品物等ハ  
 沒收セララル可シ

第二 販賣者ニ属スル贗造ノ飲料ハ流  
 シ棄ツ可シ

第三 風俗ヲ亂ス書畫ノ類ハ細ニ扯破  
 ス可シ

第四 腐敗又ハ健康ヲ害スル食物等ハ

之ヲ棄ツ可シ

第四百六十一條 原第四百五十八條 第四百五十八條 原第四百五十八條  
七十五條ニ記載シタル各人ニ於テ再犯シタル時  
ハ五日ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セ  
ラル可シ

第四百五十八條 原第四百五十五條ノ第五ニ記シタル  
 者ニ於テ同罪ヲ再犯シテ逮捕ヲ受ケタル時  
 ハ其犯人ノ註誤ヲ審判スル裁判所ニ呼出シ  
 六日ヨリ少カラス一月ヨリ多カラサル時間  
 禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六「フ」ランクヨリ少

カラス二百フランクヨリ多カラサル罰金ノ

言渡ヲ受ク可シ

第四百六十二條 原第四百七十九條

第一 第四百三條等 原第四百三十四條

至ルニノ各條ニ開載シタル場合ノ外故

意ヲ以テ他人ノ動産ニ損害ヲ生シタ

ル者

第二 狂者及ト猛獸等ヲ徘徊セシメ又

ハ車及ヒ馬又ハ車ヲ挽キ物ヲ載セ騎

行ノ用ニ供スル獸類等ノ進歩ノ速ナ

ルニ過キ又ハ其獸類ヲシテ惡キ方向

ニ至ラシメ又ハ其獸類ニ過多ノ物ヲ

積載スル等ノ事ヲ為シテ他人ニ屬ス

ル禽獸ヲ殺シ又ハ傷ツケタル者

第三 忽ニ兵器ヲ弄シ及ヒ拙ニ兵器ヲ

弄シ又ハ石及ヒ他ノ堅牢物ヲ抛チテ

他人ニ屬スル禽獸ヲ殺シ又ハ傷ツケ

タル者

第四 家屋ノ舊敗シ及ヒ破壊シ又ハ修

理ニ怠リ又ハ政府ノ命令及ヒ土地ノ

習慣等ニ於テ定リタル預備信號標識等ナク市街道路街衢等ノ中央及ヒ傍側等ニ障碍物ヲ置キ及ヒ穴ヲ穿テ又ハ其他ノ事ヲ為シ他人ニ屬スル禽獸ヲ殺シ又ハ傷ツケタル者

第五 倉庫商店操作場商館市場等ニ於テ贗造ノ度量ノ具ヲ所有スル者但シ此規則ト贗造ノ度量ノ具ヲ用ヒシ者ニ註誤ノ罪ヲ審判スル裁判所ニ於テ言渡ス可キ刑ト相抵觸スル事ナカル

可シ

第六 法律ノ定則ト異ナリタル度量ノ具ヲ用フル者法律ニ從ヒ公然ニ定メタル價目録ニ記セシ定價以上ニ麵包及ヒ肉類等ヲ販賣セシ麵包ノ製造者及ヒ屠者  
第七 ト筮及ヒ占夢ヲ職業トナス者  
第八 住民ヲ驚カス可キ害アル噪鬧又ハ夜間ニ噪鬧ヲ為ス首從  
第九 官署ノ命ニ於テ為タル貼壁ノ示

告ヲ除去シ及ヒ扯破セシ者

第十 他人ニ屬シタル地内ニ於テ殊ニ  
 他人ニ屬シタル人造ノ草類ノ生シタ  
 ル地又ハ葡萄園楊ヲ種植セシ地又ハ  
 カプリエール名木橄欖粟石榴橙及ヒ其  
 種類ノ樹木等ノ萌芽ヲ生シタル地及  
 ヒ其他ノ人造ヲ以テ萌芽ヲ生セシメ  
 タル木ノアル地又ハ養樹園等ノ中ニ  
 何レノ種類ヲ問ハス獸類ヲ牽キ入レ  
 シ者

第十一 何レノ方法ヲ問ハス大道ヲ毀  
 チ又ハ其道幅ノ定度ヲ侵占セシ者

第十二 習慣ニテ許シタル事ナキ地ニ  
 於テ特ニ官署ノ許ヲ得ル事ナク大道  
 ニアル草ノ生シタル土塊泥土及ヒ石  
 等ヲ盜ミ又ハゴムミーンニ屬スル地  
 ニ於テ泥土木材石等ヲ盜ミシ者

此等ノ者ハ十一フランクヨリ少カラヌ十五  
 フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク  
 可シ



第四百六十三條 原第四百八十四條

第一 前條ノ第三ニ記シタル場合ニ於テ他人ニ屬シタル禽獸ヲ殺シ又ハ傷ケシ者

第二 贋造ノ度量ノ具ヲ所有スル者

第三 法律ノ定則ト異ナリタル度量ノ具ヲ用ヒシ者及ヒ前條ノ第六ニ記シタル罪ヲ犯セシ麵包ノ製造者及ヒ屠者

第四 占夢者

第五 人ニ害アル噪鬧及ヒ夜間ノ噪鬧等ヲ為ス首從

此等ノ者ハ其罪犯ノ情狀ニ從ヒ五日ヨリ多カラサルニ至ル迄ノ時間禁錮ノ刑一處セラレ可シ

第四百六十四條 原第四百八十一條

第一 贋造ノ度量ノ具及ヒ法律ノ定則ト異ナリタル度量ノ具

第二 ト筮又ハ占夢ノ職業ヲ為スニ用ヒ又ハ用フ可キ器具及ヒ衣服

此等ノ物ハ沒收セララル可シ

第四百六十五條原第四百六十二條 第四百六十二條原第四百

九條ニ記載シタル場合ノ各人ニ於テ再犯ノ

罪アル時ハ毎ニ五日ノ時間禁錮ノ刑ニ處セ

ラル可シ

第四百六十六條原第四百三條 犯人ニ於テ前ノ十二

月内ニ或ル裁判所ノ管轄内ニ於テ誣誤ノ罪

ヲ犯スニ因リ裁判ヲ受ケタル後ニ其裁判所

ノ管轄内ニ於テ再ヒ其罪ヲ犯セシ時ハ第四

百四十七條原第四百四條以下ニ開載シタル何レ

ノ場合ニ於テモ罪ノ再犯ナリトス

第四百四十七條原第四百四條以下ニ開載シタル

何レノ誣誤ノ罪ニ於テモ第七十二條原第四百

三ニ記載セシ規則ヲ適當シテ用フ可シ

類聚佛國刑法卷四終

明法寮編纂

明治八年第一月刻

東

近藤圭造

京

吳服町十二番地  
坂上半七

